

## 16 国際

場面：ニュース番組の一部

状況：海外要人來日のニュース。アナウンサーのナレーション

登場人物：A (男性、ナレーター)

A: 続いでいるニュースです。環境を大切にすることを知られる「エルク森林共和国」、通称、「エルク共和国」の大統領が、今週、日本を公式に訪問しました。3年ぶりの來日であり、環境、教育、そして外交の分野でさまざまな話し合いが行われました。

まず大統領は、東京都内で開かれた国際環境会議に参加しました。会議で大統領は「森林を守ることは、地球温暖化を防ぐために欠かせない」と強く訴えました。エルク共和国では、国土の8割を占める森林を守るために、木を切った企業に必ず同じ数以上の木を植えることを義務づけています。また、子どもたちが自然の大切さを学ぶ「森の授業」と呼ばれる独自の教育課程も行っています。大統領は、このような取り組みを紹介し、日本をはじめ世界の国々と協力していきたいと語りました。

その後、大統領は日本の大学を訪問し、学生たちと交流しました。講演で大統領は「教育は未来をつくる力だ。若い世代が環境について学び、国を超えて協力することが大切だ」と話しました。会場の学生からは「エルク共和国の取り組みに感動した。自分も将来、環境問題に取り組みたい」といった声が聞かれました。大統領は「皆さんのような若者が未来を変える」と答え、学生たちを励ました。

また、日本の首脳との会談も行われました。会談では、気候変動対策や再生可能エネルギーの技術協力について話し合われました。さらに、両国の若者が教育や研究で交流するプログラムを広げることも確認されました。両国は、環境と教育を中心に外交関係をさらに強めていくことで一致しました。

最後に大統領は、「日本とエルク共和国は自然を大切にする心を共有している。共に協力し、次の世代によりよい地球を残したい」と述べました。

今回の訪問を通して、環境、教育、外交の分野で両国の協力が一層深まることが期待されています。